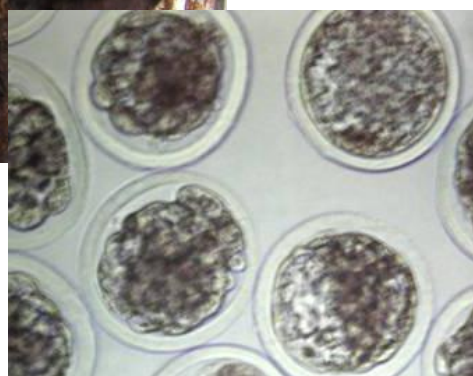


農家所有牛の採胚が良好で、改良・増殖に弾み

畜産センターでは、農家の高能力牛から受精卵を採取する農家採胚を行っています。4月13日、京丹後市の和牛繁殖農家で行った採胚は回収胚数が多く良好で、回収した正常胚の内、5胚を当日に移植し、8胚を後日に移植するため凍結しました。今年度も府内の乳牛と和牛の改良のため、この取組を進めます。



農家の庭先で牛の受精卵を採取



受精卵（大きさは直径約 0.15mm）